

事業番号	04 02 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	多文化共生等推進事業			部局	県民文化部	課・室	文化政策課 多文化共生・パスポート室	
				実施期間	不明～	E-mail	tabunka@pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

<p>【多文化共生推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の多文化共生の推進を図るため、更なる意識づくりが必要。 ・生活やコミュニケーションに必要な日本語を学べる場所が少ない。 ・国籍や文化の違いを認め合い、共に学び、共に地域の活力を創造する社会づくりを行っていく必要がある。 <p>【一般旅券事務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅券窓口の時間延長、日曜交付窓口の設置等を通して、県民の旅券取得の利便性向上を図ってきたが、国のデジタルガバメント実行計画と歩調を合わせた手続きの電子化により、更なる県民の利便性向上が必要。
--

2 事業目的

<p>(1) 多文化共生推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国籍や文化等の違いを認め合い、共に学び、共に地域の活力を創造する多文化共生社会をめざす。 <p>(2) 一般旅券事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法定受託事務である一般旅券発給等に係る申請の受理、作成及び交付事務を適正に実施し、また電子申請の運用及びオンライン決済の導入を推進することで、県民の旅券取得の利便性向上を図る。
--

3 事業目的を達成するための取組

<p>①外国人と共に学び共に活躍できる地域づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先駆的な日本語教室を拠点とした多文化共生モデル自治体を充実 ・外国人の日本語学習と地域とのつながりを支援する日本語交流員の養成講座の開催 ・日本語教室への日本語教師及び日本語交流員等の派遣 <p>②長野県多文化共生相談センターの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多言語による相談対応及び情報提供・発信 ・市町村の相談体制の整備・拡充支援 <p>③一般旅券発給事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正な旅券発給事務の実行 ・県民の旅券取得の利便性向上のための、マイナポータルのサイトを通じた切替新規申請の電子申請を推進 ・電子申請の利用者を対象とした、旅券発給手数料納付におけるクレジットカード決済の導入
--

4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
①	日本語交流員養成数	人	24	46	↗	44	↘	40	△	多文化共生の拠点となるモデル地域日本語教室をはじめ、長野県が目指す地域日本語教室で活動する日本語交流員を東信、南信、中信、北信の4地域でそれぞれ10人養成する。	
②	長野県多文化共生相談センター実施の相談員研修会受講者の満足度	%	—	—	—	—	—	80	△	地域の相談体制の充実と強化を図るため、行政窓口において外国人の相談を行う者が、相談に的確に応じるスキルの上昇及びノウハウを蓄積する研修を年6回実施。	
③	指標なし										

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（指標名）	単位	直近3か年の状況						目標		
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値	
4-2①	年齢、性別、国籍、障がいの有無や経済状況等が障壁とならない公正な社会の創出	該当なし										
5-2①	一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境の創出	該当なし										

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計	うち一般財源		
R5年度	(予算案)		134,613		134,613	16,187	5.0
	(要求)		139,659		139,659	21,233	
R4年度	0	131,321	0	131,321	16,295	5.0	
R3年度	0	131,862	△ 14,168	117,694	87,950	105,484	5.0
予算要求からの 主な変更点	必要な情報については、引き続き多文化共生相談センターのホームページ等で発信することとし、外国人県民に対する新型コロナウイルス感染症情報発信事業を廃止						

事業番号	04 02 01	細事業一覧（令和5年度実施事業分）		□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検		
事業名	多文化共生等推進事業		部局	県民文化部	課・室	文化政策課 多文化共生・パスポート室

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	
1	多文化共生推進事業		41,003 千円	40,180 千円	(予算案) 37,820 (要求) 42,866 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	地域日本語教室創出支援事業	直接	日本語教室を地域における多文化共生の拠点とした地域づくりを推進 日本語教室等の取組を支援する総括・地域コーディネーターの配置、県内在住外国人の日本語学習の支援と外国人と地域をつなぐ「日本語交流員」の養成（初期研修5回、オプション研修2種×2回、スキルアップ研修4回）、日本語教室（モデル自治体1か所）への日本語教師及び日本語交流員の派遣、効果的な事業運営を検討する総合調整会議（2回）及び地域会議（2回×4地域）の開催			
2	長野県多文化共生相談センター設置事業	委託	生活者としての外国人への生活支援情報の提供・相談対応のほか、市町村の相談体制の強化を支援する「長野県多文化共生相談センター」を設置・運営 相談対応言語（15言語）、ホームページでの情報発信（15言語）、市町村相談員の資質向上研修会開催（6回）、出張相談会の開催（10回）			

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	
2	一般旅券事務費		90,859 千円	91,141 千円	(予算案) 96,793 (要求) 96,793 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	一般旅券事務	直接 委託	法定受託事務である一般旅券発給等に係る申請の受理、作成及び交付事務を適正に実施。また、電子申請の運用及びオンライン決済の導入を推進 10地域振興局並びに飯田市、小諸市、千曲市及び軽井沢町に窓口を開設			